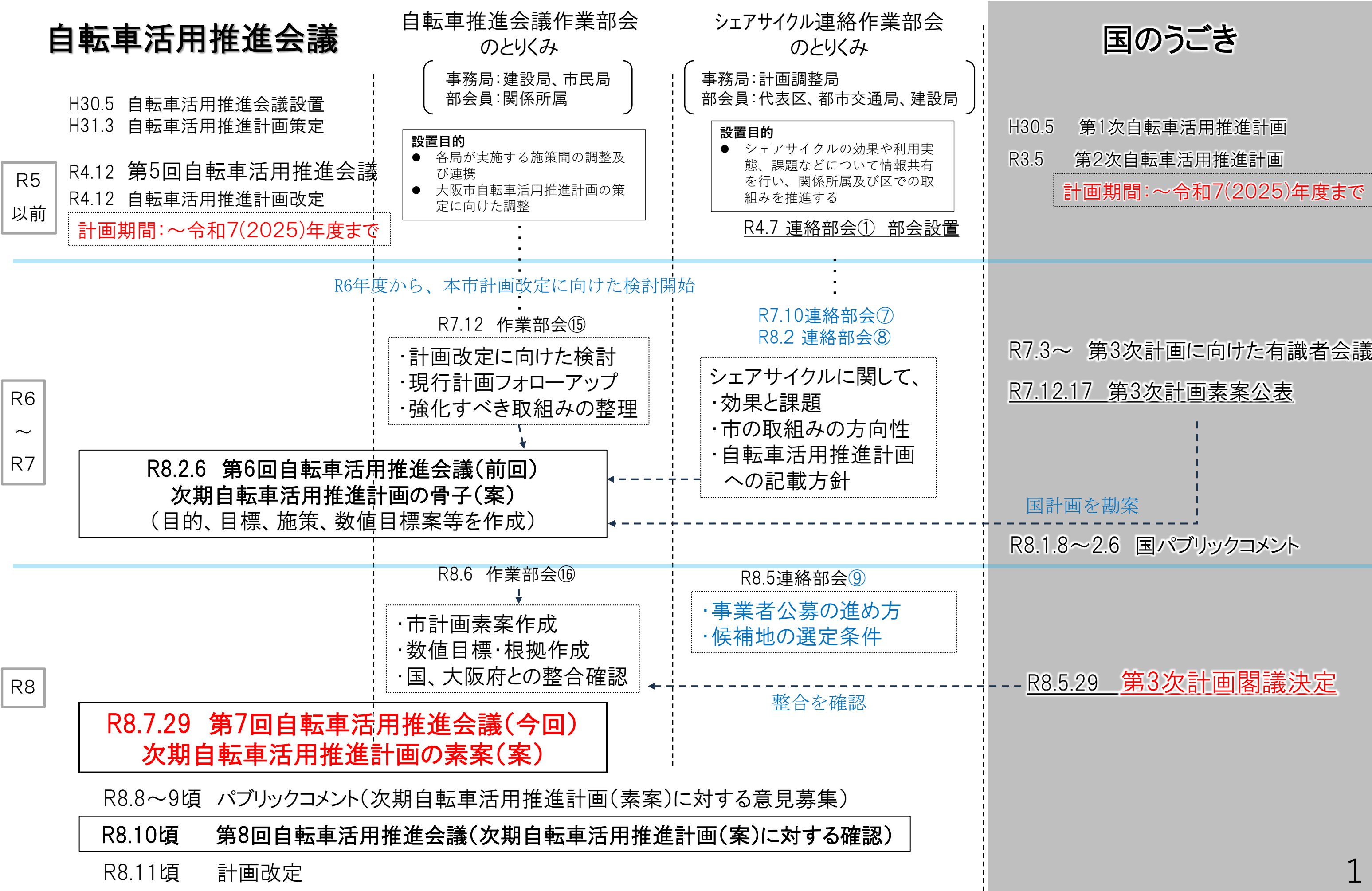


議題 1.

計画改定のスケジュール及び
前回会議の振り返りについて

■計画改定スケジュールと本日の議論について



■ 前回会議の振り返り

- 『計画年度』は、国計画や本市関連計画を踏まえ、令和12(2030)年までとする
- 『目的』を再整理し、**キャッチフレーズ** を設定
- 国計画に合わせ、①～⑤の5つの『目標』に再編
- 現行計画の『施策』の**強化・継続**に加え、『(7)交通手段のベストミックス **新規**、(10)移動の脱炭素化の促進 **新規**』の施策を追加
- 計画の進捗や効果を示す指標として、『**数値目標***』を設定 **(※今後、具体的数値の精査を行ったうえで、計画に記載していく)**

目的	目標	施策	数値目標 (参考)
ちゃりのチカラで、 快適・健やか・ 魅力都市 自転車を利用できる環境を整え、 自転車の役割を拡大し、 環境にやさしく、 市民が豊かで 健康に暮らせる 「魅力ある都市」 をめざす	利用環境 目標① 利用環境 安全で快適な通行環境の整備による 良好な自転車利用環境の実現	(1)良好な自転車ネットワークの形成 強化 (自転車通行環境整備計画の改定) (2)路上駐車の抑制 継続 (3)自転車駐輪対策 強化 (附置義務自転車駐車場の適正利用の促進、シェアサイクル活用) (4)まちづくりと連携した総合的な取り組みの実施 強化 (シェアサイクル活用)	2035年までに 新たに〇〇kmの 自転車通行環境を整備
	安全安心 目標② 安全安心 自転車事故のない 安全で安心なまちの実現	(5)交通安全思想の普及徹底 強化 (民間等と連携した交通安全教育の推進) (6)災害時における自転車活用の推進 継続	自転車関連事故 の件数を 〇〇件/年以下
	移動環境 目標③ 移動環境 自転車通行の役割拡大による 地域の良好な移動環境の形成	(7)交通手段のベストミックス 新規 (シェアサイクル活用) ・シェアサイクルポート整備促進による公共交通補完、利便性・回遊性向上 ・MaaS活用による利用促進・利便性向上	市内全体のシェアサイクルの平均ポート密度 〇〇ポート/km2/計画以上
	健康脱炭素 目標④ 健康・脱炭素 自転車利用の促進による 活力ある健康長寿社会や 脱炭素社会の実現	(8)運動習慣の確立 継続 (9)サイクルスポーツの振興等に向けた公共空間の活用 継続 (10)移動の脱炭素化の促進 新規 (デコ活の啓発等位置付け)	公共空間を活用したサイクルスポーツイベントの支援 〇回/年開催
	観光づくり 目標⑤ 観光地域づくり サイクリング環境の整備による 観光魅力の向上	(11)多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市の形成 継続 (デコ活の啓発を通じて、行動変容の定着を推進し、公共交通機関や自転車の使用を促進することで、移動の脱炭素化を図る)	観光客を含む自転車利用者のためのサイクリング「ロードガイドマップ」(デジタル版)視聴数 〇〇回/年